

研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を行い、実施します。

臨床研究のうち、既存の情報・試料のみを活用する研究等については、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる参加者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません。研究に関する情報を公開し、さらに拒否の機会を保障するようにしております。これをオプトアウト手法と言います。

オプトアウトを用いた臨床研究を下記に示します。研究への協力を希望されない場合や、利用目的の詳細など研究に関するお問い合わせがある場合は、下記にあります【本研究に関する問い合わせ窓口】をご確認ください。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

【研究課題名】

スポーツパフォーマンスと傷害発生に関わる要因の調査

【研究期間】

承認日～2030年3月31日

【研究の意義・目的】

本研究の目的は、様々な競技レベル、年齢に渡ってスポーツパフォーマンスと傷害発生に関わる要因を明らかにすることです。機縁法を用いて対象者（サッカー、野球、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、ハンドボール）を募集し、パフォーマンステストと傷害調査を行い、またその要因を調査するために、身体組成、柔軟性、片脚ジャンプ着地時の動作測定を行います。本研究の結果を解析することにより、年齢、身体組成、競技レベル、競技種目によって、求められるパフォーマンス項目の差異、傷害発生の実態、パフォーマンスと傷害発生に影響を与える要因を明らかにできると考えます。

【研究内容】

1. 研究の対象となる方

男女サッカー、野球、男女バレーボール、男女バスケットボール、女子ソフトボール、男女ハンドボールのチームに所属する選手

2. 研究の方法（使用する情報）

(1) 傷害発生に関する質問紙

学年、年齢、性別、利き手、利き足、競技歴、ポジション、練習量(時間)、練習量(日数)、過去1年以内の傷害の有無、過去1年以内の傷害の発生状況、過去1年以内の傷害の競技復帰までの日数、過去1年よりも前の期間の傷害の有無、過去1年よりも前の期間の傷害の診断名、過去1年よりも前の期間の競技復帰までの日数、過去1年よりも前の期間の傷害の発生状況

(2) 柔軟性測定

肩関節内外旋、股関節屈曲、膝関節屈曲

(3) パフォーマンステスト

身長、体重、体脂肪率、骨格筋量、内臓脂肪レベル、10mスプリントタイム、30mスプリントタイム、Tテストタイム、ジャンプテスト、YoYoテスト

(4) 片脚ジャンプ着地時の動作

【利益相反について】

本研究に関して、開示すべき利益相反はありません。

【個人情報の取り扱い】

データは匿名化された状態で共同研究機関へ提供します。対応表は、データ収集を担当する株式会社アスレおよびZERO-ONE 合同会社のみ保有し、データ分析を担当する研究者は保有しません。研究の実施に伴って取得された個人情報等の漏えい、滅失または毀損の防止その他の安全管理のために適切な取り扱いを行います。

【共同研究】

株式会社アスレ・社員/ZERO－ONE 合同会社・業務執行社員・新井宏隆

神戸国際大学・助教・武内孝祐

筑波大学・研究員・鈴木啓太

筑波大学大学院・丸山将史

筑波大学大学院・小野響也

【研究責任者】

大阪電気通信大学 人間科学教育研究センター 眞下苑子

【本研究に関する問い合わせ窓口】

株式会社アスレ

〒983-0036 宮城県仙台市宮城野区苦竹3丁目1-6 STUDIO080

電話番号：050－5370－8028